

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

SAKURA

Since 2013



Vol.39
1・2月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



Wolfgang Amadeus Mozart



野田 清隆 ©Leonardo Bravo

対話から生まれる音楽— 心揺さぶるモーツァルト！

== INDEX ==

Pick Up Artist

「気軽にモーツァルト！」出演 ピアニスト

野田 清隆

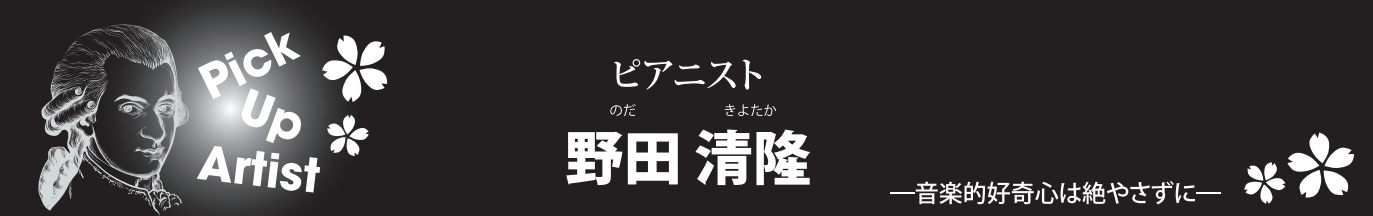
さくらプラザ春の芸術祭 2020
第7回 区民企画事業 開催

さくらプラザ 自主事業レポート

日本語で味わうオペラ ビゼー作曲『カルメン』
台詞付きハイライト上演ピアノ版

連載

音楽の隠し味／白川 優希
音楽に酔う／Daryl Jamieson
ザルツブルグの思い出
男は背中で物語る 戸塚見返親仁



3月 21日にさくらプラザで初めてピアノ協奏曲(=コンチェルト)の公演が開催されます。ピアノと指揮は、その記念すべき公演にふさわしい、戸塚出身のピアニスト野田清隆さん。今回の公演のために集まった若手演奏者 27名のオリジナルオーケストラと野田さんが対話しながら生み出すモーツァルトの音楽。公演に向けて野田さんに語っていただきました。

ピアニスト野田清隆さんのルーツ ―ピアノを始めたきっかけ

野田清隆(以下、略):

きっかけは、いろいろな出来事が重なって、おのずと、という感じなんです……。主なエピソードとしては、そうですね……。(頭の中をフル回転させている様子……。)

小学4年の時に入団した横浜少年少女合唱団で、とてもありがたいことに練習している曲の作曲者が実際に指導に来てくれる事があったんです。その先生が指揮をしてくれると、自分たちの演奏がガラッと変わるんですね。それが子どもながらにすごくかっこいいと感じて、自分もこんな風に音楽を作りたいと思ったんです。作曲をやるならピアノが弾けないといけなない、と思ったのがきっかけの1つです。あとは小学6年位の時に大ピアニストのホロヴィッツの演奏会が初めて日本で開催された様子をTVで観たのですが、ホロヴィッツはその時かなり高齢で、体調もあまり優れずに演奏会に臨んだそうで、その時の僕のような素人耳で聴いても音を間違えている、というのが分かるような、いわゆる“良い演奏”ではなかった。それでもそれを聴きに来ている人たちは感動してものすごい拍手を送っている。僕はその時、“NHKホールのような大きな会場で、たった1人でピアノを演奏して、会場いっぱいの観客を熱狂させることができるなんて!”と思ったんですよ。ホロヴィッツのこの演奏会も僕がピアノに憧れた理由です。

他には、その当時にTVでたまたま日本音楽コンクールを放送していて、現在は東京藝術大学の教授をされているピアノの東 誠三先生が1位を受賞された時の映像を観ていたのですが、他の受賞者の演奏もある中で、東先生の演奏がダントツに印象が強く残ったんです。その時に演奏していた曲が気になって、戸塚駅からすぐのところにあったハマヤ楽器さんに探しに行きました。その時はラヴェルの<クープランの墓>の“メヌエットとトッカータ”という曲だったんですが、楽譜を買うのもよく分からなくて、作曲者名や曲目をうる覚えで店員さんに伝えたりしてね(笑)。いざお目当ての楽譜が見つかったも、輸入版しかありませんね、と言われて、「輸入版ってなんだ?どれだけ高いんだろう……」と思ってドキドキしながら注文をしたり……。今のように便利な時代ではなかったけれど、でも、そのころからテレビだけではなく、ラジオから流れてきたクラシックの曲もチェックして、気になったら録音して、テープが擦り切れるまで聴き返したり……。作曲家の先生の指導が印象的だったこともあって、は



じめは作曲をしたいと思っていたんです。小学生でしたが、現代音楽とかも、「なんだ、これは……。」と思いながらも聴いていました。はたまた、オーケストラに関心がいくとヴァイオリンを習ってみたり……。実は、ピアノよりヴァイオリンを先に習ったんですよ(笑)。こんな風に音楽にのめり込んでいきました。音楽的好奇心は幅広く受け入れて、なんでも聴いたり弾いたりして、今に至っています。入っていた合唱団はプロのオーケストラと一緒に演奏会に出演したり、たびたび本番があったんです。その体験が「演奏活動をしている」という気持ちにさせられて、子どもながらに嬉しかったんですよ。ホールのレストランから入って、お弁当が用意されて、舞台に出て、拍手をもらう……。観客を感動させることができていたと同時に舞台上で自分も感動していたし、楽しかった。好きだったんだと思います。「現場にいる」みたいな感じがね(笑)。

ちなみに、初めてのピアノは大船と戸塚の間にあるピアノ百貨という中古屋さんで買ってもらったアップライトピアノです。

野田さんの思う作曲家モーツァルトの魅力

モーツァルトは音楽に恵まれた環境で過ごしてきた人ですね。恵まれた環境に居たからと言って良いものが作れるわけではありませんが、少なくとも音楽家の彼にとって恵まれていたと思います。また、作品には作った人の年齢が関わってくることもあります。作曲家自身の青春時代に書かれた作品を、今まで大切に弾いてきたけれど弾き手が50歳になった時、この作品は卒業かな……、と思わせるような。つまり、若い時に作った作品の作曲家の感情は、若い時だからこそ分かる、という作品もある訳ですね。そんな中で、若くして亡くなっているモーツァルトですが、彼はどうした理由か時代も年齢も国籍もすべてを超えて人の深い感情までも分かっちゃってる。人の気持ちに触れることができる、そんな人なのだろうと思います。作品もそうですが、そがとても魅力的ですね。

先日(取材時は2019年11月末)、アンドラーシュ・シフ(※ハンガリー出身のピアニスト)の公演を聴きに行ってきたのですが、公演後のトークでシフが「モーツァルトの音楽は片目で笑って、片目で泣いている」ということを語っていたんです。その言葉に妙に納得しました。喜びの反対側に陰りがある、悲しみの中にも灯がともっているというか、そういったことがそうさせるのか分かりませんが、音楽に詳しい^{くろうと}人も何も知らない^{しろうと}素人も、どんな人でも魅了してしまう、そんな音楽ですね。構えないのに心揺さぶられる。繰り返し聴いても、弾いても飽きない。モーツァルトの音楽の本当にすごいところだと思います。

さくらプラザでの公演について

＜演奏する協奏曲第22番 変ホ長調と第20番 二短調の聴き
どころ＞

単純に言えば長調と短調の協奏曲。長調は明るい、短調は暗いと言われますが、それぞれ3楽章形式で調性は互い違いになっています。変ホ長調の第22番はすごく悲しみの深い第2楽章があり、悲痛な感情のある二短調の第20番は第2楽章では天国的な光が差するような要素があります。先ほどのシフの話ではありませんが、長調の楽章でもどこかにソクツとするような部分もあったりして、そういった感情の変化を見つけて音楽に寄り添って楽しんでいただけたと思います。

また、交響曲を書く作曲家の協奏曲と、ヴァイオリニスト・ピアニスト作曲家の書く協奏曲の違いがあると思うんですね。モーツァルトは前者ですよ。ピアノの音がどのようにオーケストラの中で仕事ができるかを知り尽くした人。モーツァルトのピアノ協奏曲は他の作曲家と比べても別格に素晴らしいです。コンチェルトでもピアノがオーケストラの伴奏をしたり、オーケストラとどう絡むかを追求している。聴いていただけたらきっと分かっていたいただけると思います。

さらに、この2つの協奏曲にはオリジナルのカデンツァ(※オーケストラの伴奏を伴わずに自由に即興的な演奏・歌唱をする部分のこと)がありません。だいたいハイドンやベートーヴェンやブラームスの書いた有名なカデンツァを弾くことが多いです。カデンツァというのは予定調和的でないということです。それまでの楽譜通りの道から外れて、即興的な演奏でちょっと違う風を吹かせて、それからまた楽譜に戻る、それが面白いところ。今回の2曲のカデンツァも、なんとか自分で捻り出せたらいいな、と思っていますが、どうなりますやら(笑)。

＜弾き振りについて＞

今は「指揮者」というものが確立されていますが、モーツァルトの時代はもともと指揮者を立てずにソリストが指揮をしていたので、今回は当時と似た形で演奏をします。3月の公演では、通常の横向きにピアノを置くスタイルではなく、客席に背を向けて、ピアノの蓋を外し、僕が演奏をしながら指揮をします。指揮者がいる演奏とどう違うかということ、面と向かって直接オーケストラとコミュニケーションをとる、ということ。指揮があるということは、マエストロの振った指

揮棒を見て出てきた音なんです。しかもオーケストラはピアノの蓋があるからピアニストが見えなくて、次にどんな音が来るか予想していないといけな。直接ピアニストと音で対話していない分、タイムラグが少なからずあるんです。指揮者を介さずにオーケストラの中に入って一緒に音を鳴らす、直接オーケストラと対話することで生まれる音、響きというのは、何か一味違う音楽になるのではないかな、と思っています。

<さくらプラザ オリジナルオーケストラ※について>

※今回の公演のために集められた若手演奏家による小編成オーケストラ

今回のオーケストラは、弦楽器、管打楽器、それぞれ信頼できるプレイヤーにメンバーを集めていただき、そこにさくらブラザサポートアーティストの3名が加わる形です。個々の演奏能力が素晴らしいのはもちろんですが、一方オーケストラとしては初めての組み合わせです。既成の団体と違って型がないわけで、各自がアンテナを張り合ってどのような音楽的交流ができるか楽しみです。僕自身も型を作らないで、彼らの音を聴いて、僕たちの音を作っていきたいと思います。

＜さくらプラ初のピアノコンチェルト 野田さんのイメージする音とは?＞

ホール全体が音楽にあふれた空間になったらいいんじゃないかと思います。その空間に参加するというか、「舞台」と「客席」ではなく、「音のやり取りをしている場所」。その中にいる、という感覚に全員がなってくれたら面白いなと思っています。

当日どうなるかは、本当に分かりません!(笑)

(取材・構成／山上 由布子、インタビュアー／近藤 喬之)



野田 清隆 (のだ きよたか)

横浜市出身。東京藝術大学および大学院修了後、ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより同大学院で博士号を取得。第64回日本音楽コンクール第1位および各賞受賞。藝大ピアノ科・室内楽科講師を経て、現在は東京学芸大学准教授、ならびに東京音楽大学指揮科特別アドバイザー。

気軽にモーツァルト！
ピアノコンチェルトを弾き振りで！

2020年3月21日(土)15:00開演

演目：W.A.モーツァルト
 ピアノ協奏曲 第22番 変ホ長調 K.482
 ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466

*詳細は裏表紙をご覧ください。



好評
発売中

春の芸術祭2020

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…
アートに溺れる3日間!

入場無料

2020年2月20日(木)～22日(土)
開催

*開催日時は、内容によって異なりますのでご注意ください。

「春の芸術祭」は、今回で5度目となる さくらプラザで行われている様々な活動を紹介し、利用者・アーティスト・区民の文化交流の場を創出するためのイベントです。ホールでは演奏会、ギャラリーでは展示、練習室ではワークショップ、共有スペースではお菓子やパン、手工芸品の販売など、入場無料でたっぷりとお楽しみいただけます!

※今回より「アートバザール」より「春の芸術祭」へ名称が変更となりました。各出演者の詳細は、1月上旬発行のチラシをご覧ください。

4F ホール

2月22日(土)
14:00 開演 (13:30 開場)
16:00 終演予定

※出演順・曲目は予告なく変更する場合がございます。

Special Guest!!

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)
若林 顕(ピアノ)

♪ ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲Op.8-1～4
「四季」より「冬」第2楽章 他



©Wataru NISHIDA



Ensemble orange

(フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン)
♪ メリー・ポピンズよりメイン・タイトル 他



ベンティ シエテ ビエルネス

(folklore=南米の民族音楽)
♪ フローウンディア、遠い道のり 他



箏アンサンブルー箏楽音ー

(箏)
♪ 沢井 忠夫:螺鈿



女声アンサンブル The Mermaids

♪ Eriks Esenvalds: O Salutaris Hostia 他



【さくらプラザ推薦枠】 坂巻 貴彦(ピアノ)

♪ ショパン:ノクターン(夜想曲)
第2番 Op.9-2 変ホ長調 他

4F



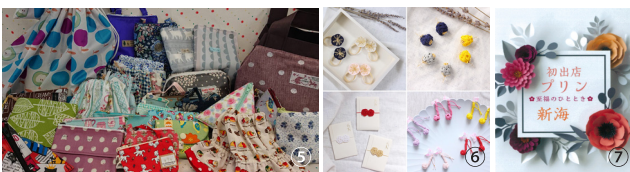
2月22日(土)
11:00～14:00

※出店者・内容は予告なく変更する場合がございます。

【さくらプラザ推薦枠】

- ①吉田屋 本店(和菓子)
- ②Vend (サンドウィッチ、スコーン)
- ③アートクルール(工芸)
- ④mini*flower & くりこばこ(アクセサリー)
- ⑤タンポポのわたげ(布小物)
- ⑥tampopo(アクセサリー)
- ⑦新海(プリン)

*順不同・画像はイメージです。

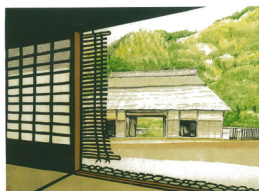


3F

ギャラリー

2月20日(木)13:00～17:00 / 21日(金)10:00～17:00 / 22日(土)10:00～16:00

※展示内容は予告なく変更する場合がございます。



①大森 洋太郎

(切り絵、水彩画、ペン画、木製品)



②アート・先生とみんなの会

(手工芸作品:
トールペイント、和布工芸 他)



③坂巻 愛子

(絵画・掛軸・書道)



④恒陽彩会スケッチ部

(風景画:水彩画)



⑤大谷 和一

(絵画/小作品・作品絵葉書)



⑥神奈川県きりえの会

(きりえの作品)
*体験あり



⑦似顔絵たまてばこ

(似顔絵)

*体験あり



⑧とつかアートプロジェクト

(パステル画・油彩画・禅画 他)



⑨YOKOHAMAN

(写真・イラスト・立体など)

4F

練習室

すべて2020年2月22日(土)

※開催時間は会場により異なります。



【リハーサル室】 クラシックバレエ レッスンワークショップ

リサバレエアカデミー講師
大山 理紗、大山 詩織
協力:リサバレエアカデミー
ピアノ:伊東 優里

予約
優先



【練習室1】
ヴァイオリン
ミニコンサート
演奏体験コーナー付き
蛸名 桃子(Vn)、望月 香菜子(Pf)



【練習室2】 音響機材操作 ワークショップ

ピアニスト/
レコーディング・エンジニア
金森 大



©Taira Tairadate

【練習室3】
ハンドパン
ミニコンサート
演奏体験コーナー付き
三神 絵里子



【練習室4】 いきいきとした美しい 笑顔になるための 顔ヨガワークショップ

株式会社笑顔育 代表取締役
一般社団法人笑顔トレーナー協会
代表理事
川野 恵子

予約
優先

戸塚区民による戸塚区民のための

第7回 区民企画事業

2020年1月～3月 開催

2013年の開館以来、7回目を迎える「区民企画事業」では、戸塚区民によるさまざまなジャンルの文化芸術活動を募集し、地域の賑わいに努めます。

ホール、ギャラリー、リハーサル室と、各施設の特長を活かした企画がいっぱいです。ぜひこの機会にお楽しみください。皆さまのご来場をお待ちしております！

ホール(4F)



遠藤 香奈子・和歌子 「とつかニューイヤーコンサート2020」 2020年1月24日(金)14:00開演 (13:20開場)

戸塚区出身のプロ音楽家、遠藤香奈子(バイオリン)・和歌子(ピアノ)姉妹によるクラシックコンサートです。第5回目を迎える今回も名曲揃いですので、どうぞお楽しみに！

曲目

宮城 道雄：春の海、ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女
ラヴェル：ツィガーヌ 他

チケット代 全席指定 1,400円 ※さくらプラザ窓口で購入可能

問合せ 050-3579-1312(遠藤)

ギャラリー(3F)



ぞうけいきょうしつ 造形教室むむていあ 「手から生まれる・子どものアート展」

2020年1月22日(水)～1月26日(日)
10:00～17:00(最終日16:00まで)

「造形教室むむていあ」は戸塚区内で活動するアートの教室です。「ものづくり」が大好きな子どもたち、個性豊かな青年たちの、心と手から生まれたユニークな作品を展示します。

展示内容 絵画・工作

チケット代 無料

問合せ 045-864-7270(志村)

mama_elephant2000@yahoo.co.jp



ゆめ フォト夢とつか 「みんなの写真展」

2020年3月3日(火)～3月9日(月)
10:00～17:00(初日13:00から/最終日15:00まで)

フォト夢とつかの活動も11年目となりました。「みんなの写真展」は「写真部門」「フォト川柳部門」で募集し、知識・技術・感性を生かした、年度末集大成・区民の公募展です。

展示内容 写真

チケット代 無料

問合せ 090-1614-6781(矢ヶ崎)

yaga1010@carrot.ocn.ne.jp

リハーサル室(4F)



ジェントル・ムジーク・クライス 「라이어(竖琴)ワークショップ」

2020年1月25日(土)

①11:00開演(10:30開場)／②14:00開演(13:30開場)

繊細で優しい音色の竖琴라이어は、ドイツの哲学者シュタイナーの弟子たちによって考案された弦楽器です。聴く人も演奏する人も、演奏する人も癒される라이어を体験してみませんか。色々な라이어を用意します。

内容

라이어を実際に弾く体験会

チケット代 2,500円 ※さくらプラザ窓口で購入可能

問合せ 090-6548-1376(小倉)

leier@mbr.nifty.com

ろうどく カトレア(朗読)の会 「第5回新春語りライブ～古屋和子と仲間たち～ 『中島敦の世界』」

2020年1月29日(水)14:00開演(13:30開場)

新春恒例となりました語りの会、語りと珍しいパーカッション、琵琶とのコラボによる『中島敦の世界』をお楽しみ下さい。

演目

『狐憑』(語りと琵琶)、『幸福』(語りとパーカッション)

チケット代 2,500円/要事前予約・先着70名

問合せ 090-9306-5267(渡)

hiroyukji@gmail.com



ゆのん 悠音 126

「星空コンサート～銀河鉄道の夜～」

2020年1月26日(日)14:30開演(14:00開場)

第1部は星まつわるフルートとピアノの曲を、第2部では「銀河鉄道の夜」の朗読を藤城清治氏の影絵・生演奏とともに楽しみいただきます。

曲目

月の光、ジュピター、星に願いを 他

チケット代 1,500円 ※さくらプラザ窓口で購入可能

問合せ 045-814-2154(千葉)

himawari.piano.chiba@gmail.com



ふるや かずこ
古屋 和子

わだ けい
和田 啓

しおたか かずゆき
塩高 和之

「第8回 区民企画事業」は 2020年春頃募集を予定しています。

【対象事業】

戸塚区民文化センターさくらプラザで行なう公演、
展覧会、ワークショップ等の文化事業

【利用特典】

- ・さくらプラザ後援及び優先予約
- ・さくらプラザHP・情報誌等での広報活動の協力

予定

関連企画

さくらプラザアートマネジメント講座X
& 学生応援プロジェクト

あなたの企画を叶えるための 公演制作ははじめの一歩！

2020年3月15日(日)13:30～15:30

■参加無料

■対象：学生(定員10組/1組3名程度)

■会場：さくらプラザ・リハーサル室

■2020年1月18日(土)14時より申込開始(先着)

*詳しくはチラシ・ホームページをご覧ください。



日本語で味わうオペラ Carmen

台詞付きハイライト上演ピアノ版

2019年10月27日(日) 開催
さくらプラザ・ホール

写真:T. Tairadate



出演者(写真左から):巨瀬 励起(ピアノ)、村上 敏明 (ドン・ホセ役)、郷家 暁子(カルメン役)
長島 由佳(ミカエラ役)、大山 大輔(エスカミーリョ役/ナビゲーター)

オペラの代表作「カルメン」といえば多くの方が観たことがある、1度は楽曲を聴いたことがある演目かと思います。そんな「カルメン」を今回、事前講座を8月に言語(フランス語)で大山大輔さんのナビゲートによるプレコンサート、10月の本公演を日本語上演でお楽しみいただくという新スタイルで開催しました。演出を出演者でもあるライトオペラ制作部の大山大輔さんが担当。ソリストは第一線で活躍するメンバーで制作されました。大山大輔さんの演出と超一般のソリストが演じる「カルメン」は、オペラを何度もご覧になったことがある方も、初心者の方にもお楽しみいただけたのではないのでしょうか。それでは公演の写真とともに、ビゼー作曲「カルメン」をハイライトでお楽しみください。

「カルメン」あらすじ

物語はスペイン南部、セビリヤにあるタバコ工場の広場から始まる。沢山の女工達の中にあって、男達の眼差しを一身に集める女がいた。その名はカルメン。彼女との恋にはご用心。捕まえたと思ったら大間違い。逃げられなくなっているのは…貴方の心の方なのだから。そこにドン・ホセという名の生真面目な士官が一人、女たちには目もくれずに銃剣の手入れをしていた。カルメンはその様子が気に入ったのか一輪の花をホセに投げつけて去っていく。この気まぐれな誘いが、二人の運命を破壊へと導くことになるうとは…この時は、誰も知る由もなかった。

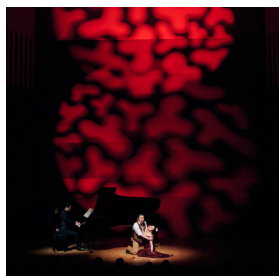
大山 大輔



③1度は惹かれあったドン・ホセとカルメン……。



④人気のナンバーワン闘牛士 エスカミーリョの登場で物語が大きく変わっていく。



⑦カルメンへの嫉妬に駆られたドン・ホセはついにカルメンを殺めちゃうのだった……。



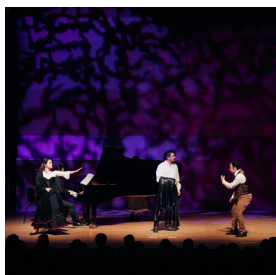
⑧ピアニスト 巨瀬励起さんによる伴奏はまさにオーケストラ!



①物語はドン・ホセとカルメンの出会いからスタートする。



②ドン・ホセはミカエラという故郷から訪ねてきた幼馴染みと再会しながらも、カルメンに惹かれていったのである。



⑤カルメンを巡ってエスカミーリョとドン・ホセは命をかけた決闘を行うが引き分け……。



⑥再びミカエラが訪れ、母の危篤を聞いたドン・ホセは1度故郷に帰るのだが……。

さくらプラザ
ハイライトオペラシリーズ
Vol.2 制作決定!!

詳細は2020年春頃公開予定

音楽の隠し味 Op.4

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることによってクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

ピアニスト 白川 優希

第4回目は チャイコフスキー です。

チャイコフスキーは出身国ロシアの国民性を保ちつつも西欧音楽の伝統や形式を取り入れた作曲家で、バレエ「くるみ割り人形」など親しみやすい作品を多く残しています。今回はそんな彼の ロシア・ウクライナ民謡 が隠し味です。

彼ははじめてから「音楽家」という職業ではありませんでした。当時のロシアでは音楽家だけで食べていくことが非常に難しく、本業を持ちながら音楽活動をする人がほとんどだったのです。元々彼には音楽の才能があり、ピアノ演奏に関して近所で評判になるくらいの腕前でしたが、将来の事を考えた両親の方針で法律学校へ進学します。軍隊のように厳しい学校を卒業した後、法務省に就職。農民の書類下書きを作成するなど、庶民との距離が近い仕事をしていました。同僚や上司からは性格と印象の良さや品位が評価されていました。一時サボりがちになってはいたものの、ある日態度を改め真面目に努めてからは、初年度に係長下級助手、翌年上級助手、2年後には成績を上げ八等文官から七等文官へ昇進します。法務省に身を置くことで音楽漬けの日々ではなく、自然と兄弟や農民達の歌うロシアやウクライナの民謡に囲まれて生活していたのです。

彼の勤務後の何よりの楽しみはお洒落な格好をしてパーティでピアノを弾くことで、一度メロディーを聴くと演奏で再現出来る能力が仲間からも重宝がられました。しかし毎晩のように出かけていく彼を心配した父は、そんなに音楽が好きなら「今からでも音楽家になるのは遅くないのでは?」と音楽の道を提案します。はじめは「パパが音楽家になるのにまだ遅くないと言う。仮にそうだとしよう。しかし、問題は僕に才能があったとしても、多分、それを伸ばすのは今更不可能だ。僕は既に役人になってしまった。もっともあまり立派ではないけれど」と自信なさげに躊躇していましたが日に日に増していく音楽への情熱や思いから、今まで築き上げてきたキャリアを捨てて本格的に音楽の勉強をすることにしました。サンクト・ペテルブルク音楽院に入学し、第一期生として音楽界の重鎮達から教を請い努力しました。けれどもそう簡単に良い点数はつけられません。

法務省時代に真面目に取り組めば評価されていくことを知っていた彼は、厳しい授業の中西欧音楽の伝統や形式を学びメキメキ実力を付け、音楽院を卒業します。卒業後はオペラやバレエ、交響曲などを少しずつ丁寧に発表していました。

ロシア民謡が滲み出てくるような彼の作品は大衆には喜ばれましたが、音楽新聞などでは専門家からの酷評が続きます。しかし、賛否両論されつつも少しずつ名声が高まり国内外で評価されるようになりました。サンクトペテルブルク音楽院で学んだ西欧音楽の伝統的な形式に法務省時代まで馴染み深かった民謡を取り入れたことで、彼の作品は人々の心をガッチリ掴んだのです。ロシア・ウクライナ民謡はチャイコフスキーの親しみやすい作品の隠し味となっているのではないのでしょうか。



チャイコフスキー

① おすすめの一曲

チャイコフスキー /
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 Op.23

彼が34歳の時に作曲したこの曲は親友に献呈するつもりでしたが、西欧音楽の決まりを重視する友は「こんな曲は無価値で手直しも出来ない。下品で演奏不可能だ」と心無い言葉で酷評しました。しかし、ビューローという当時有名だったピアニストがこの曲をとて好み、演奏ツアーの際にレパートリーとして取り入れてから今では世界中で人気曲となっています。第一章ではウクライナの吟遊詩人が歌う通俗的な民謡がメインテーマになっていて、第三楽章にウクライナ民謡「出ておいで、出ておいで、イヴァンカ」が取り入れられています。『Tchaikovsky Piano Concert 1』で検索するといくつかの音源が見つかるので是非聞いてみてくださいね。

※参考文献
小松佑子(2017)『チャイコフスキ伝上・下巻』文芸社
エヴェレット・ヘルム著/許光俊訳(1993)『<大作曲家>チャイコフスキー』音楽之友社
森田稔(2008)『ロシア音楽の魅力』東洋書店



白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。井上節子、川島伸達各氏に師事。テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。」『警部補・碓氷弘一シリーズ』殺しのエチュード/マインド」ピアノ監修。フジテレビ系列「世にも奇妙な物語「シンクロニシティ」』ピアノ協力。また、自身の企画で戸塚さくらプラザと泉区民文化センターにて「オペラ紙芝居」を開催。戸塚さくらプラザのイベントに多数出演。



ショパン — あまりに有名で可哀想なことになっている作曲家。私は大学生の時、ピアノのマスタークラスに参加していました。マスタークラスでは、その大学で学ぶピアニストを集めて2時間ほどの時間をかけ、4、5人の学生に今練習している曲を全員の前で演奏してもらい、それから先生がどこをどうしたらもっと良くなるか、アドバイスします。毎週、必ず誰かがショパンを弾きます。音大の四年間で、ショパンが作曲したポロネーズ、エチュード、マズルカ、バラードを学生の演奏で全て聴いてしまったようです。そのためか、私にとってショパンは徐々につまらない作曲家とを感じるようになっていきました。



Daryl Jamieson(ゼミソン・ダリル)
鎌倉在住カナダ人作曲家、美学研究者。
東京藝大で学んだ。
一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。
「工房・寂」主宰。



<http://daryljamieson.com/jp/>

話は遡って……ごく若い時、初めてアルコールを飲んだのですが、カナダという国柄、そして自分の世代を考えると、私の「初アルコール」というのは割に遅かったといえるでしょう。同級生のほとんどがビール、ワイン、ウォッカとジュースのカクテルといったアルコールを既に飲んでいました。私のガールフレンドの家族がウォッカ・マティーニを作ってくれました。安物のウォッカと安物のベルモットで作られたそれは、トッピングのオリーブだけが美味しいといえる代物。嫌いですが、正直に言うと、彼女の両親は半分怒って、半分面白がっていました。

今もマティーニを時折飲んでいますが、私は殆どジンで作ります。「ショパン」というブランド名の贅沢なウォッカがありますが、ウォッカですから「ピュアな味がある」とは言えても、それを「美味しい」とはちょっと言えないでしょう。一方ベルモットはこの頃いろいろなカクテルやストレートで、あるいはトニックウォーターで割ってよく飲んでいました。

最近、ショパンの作品を聴き直しています。有名曲はもう「充分聴いた」という感じがありますが、あまり知られていない曲、また大学生ではなかなか歯の立たない、晩年の難曲・大曲の魅力が徐々に私にもわかるようになりました。1月31日、さくらプラザ・ホールでピアニストの若林顕さんがショパン・全ピアノ作品シリーズの第10回目を開催します。有名な作品も、それほど知られていない作品もありますが、なかでも複雑かつ大胆なピアノ・ソナタ第3番が大きな目玉でしょう。音楽でも、飲み物でも、年を重ねるにしたがって嗜好は変化するでしょう。私もいずれはショパンを聴きながらウォッカ・マティーニを飲むようになるかもしれない。でももちろん、安酒は御免です。

さあ、乾杯！

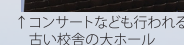


今回取り上げられた公演がお楽しみいただけます。
若林 顕 セルフ・プロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ
ショパンを巡る旅 2018-2020 Vol.10 オペラから生まれたヴィルトゥオジティ
2020年1月31日(金) 19:30開演
全席指定 一般 2,500円／学生 1,500円
【出演】若林 顕(Pf)



最終回
2020年2月14日に行われる「名曲サロン Vol.22 6手のためのピアノ連弾 ～ザルツブルクでもとに学んだピアニストたち～」に出演される3名のピアニストが音楽留学先での思い出を全3回に渡り紡いでいきます。最終回はさくらプラザの主催公演やアウトリーチに何度もご出演されている、菊地美涼さんです。

連載もいよいよ最終回。私からはモーツァルト音楽大学の学校生活について書いていこうと思います。モーツァルト音楽大学には主に2つの校舎があり、新校舎はとても近代的で、ガラス張りのレッスン室が特徴的です。対照的な古い校舎は昔ながらのヨーロッパらしい趣のある建物で、美しいホールではクラスコンサートを頻繁に行っていました。私は日本では音大に通っていなかったのですが、ザルツブルクでは日々のピアノのレッスンは勿論、授業は全て音楽について、そして毎週のように素晴らしいコンサート尽くしという初めての音楽漬け環境の中で、心行くまで音楽と向かい合うことが出来て、貴重な財産となりました。



しかし異国での慣れない生活に戸惑うことも多く、特に大きな壁だったのはドイツ語でした。音楽史など沢山の授業をドイツ語で受けなければならず、テストでは意味もわからないままひたすら暗記したり、プレゼンをしなければいけなかったり……。本当に自分がこの学校を卒業できるのか不安でしかたありませんでした。何とかたどり着いた大学院の卒業制作では、自分のCDを録音から編集、解説作りまで行うというもので、とても良い記念となりました。ザルツブルクといえば「モーツァルトの生まれた街」。晴れた日の真っ青な空や、飾らない素朴な街の人々に触れ、この街と彼の音楽というのは繋がるものがあるように感じています。この地で出会った3人でお届けする6手連弾、是非お楽しみに！



きくち みすず
菊地美涼／プロフィール
埼玉県出身。ヤマハマスタークラスに在籍後、ザルツブルク・モーツァルト音楽大学にて研鑽を積み、在学中にモーツァルトプライス2011にて第1位を受賞。同大学大学院ソリスト課程を最優秀の成績で卒業。エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA 部門第1位等、幼少の頃より数多くのコンクールで優秀な成績を収める。帰国後は演奏活動を活発に行う他、後進の指導にもあたる。デビュー・アルバム "Mozart Favorite Piano Works ピアノソナタ第13番～モーツァルト作品集" をリリース。

男は 背中で 物語る
トツカミカエリオヤジ
戸塚見返親仁

其之 四十

商店のご主人など、戸塚区内で働いている
オヤジ世代をご紹介します。

顔見世

代表取締役／製造責任者 **鈴木 真也さん**
自分の好みに合ったビールを見つけてください！

横浜ベイブルーイング株式会社

—「横浜ベイブルーイング」という名前の由来をお聞かせください。

「横浜」を冠につけたいと考えていたので「横浜ベイ」を屋号に「ブルーイング＝ビール醸造所」で「横浜ベイブルーイング」としました。

—ビールとの出会いを教えてください。

いわゆる大手会社以外のビールに出会ったのは、学生時代に飲んだ御殿場高原ビールが初めてでした。卒業後は「横浜ビール」に入社して、チェコのビールと出会いました。その後、会社で培った経験を元に独立し現在に至ります。

—ビールの魅力を教えてください。

バリエーションが豊富なお酒なので表現の多様性が魅力です。例えば、材料を変えることでフルーツのビールを作ることでもできますし、色も赤や黒など豊富です。世界規模では各国のビールトレンドがあるので、日々新しいビールが生まれています。また、大手のビールだけではなく様々なクラフトビールがあり、自分の好みに合った物を見つけるのも楽しみの一つです。

—独立の始まりは飲食店だったということですがどうしてでしょう？

工場とお店を同時に始めたかったのですが、工場を始めるための免許の取得や準備に時間がかかり、関内店のオープンが先になりました。

—販売されているラインナップは何種類あるのでしょうか？

定番の3種類を含めて常時6～8種類販売を行っています。定番の銘柄も仕込みごとに調整を行って、マイナーチェンジを繰り返しています。

—お店で飲むビールと気軽に買える瓶ビールの違いは何ですか？

お店で使用しているビールサーバーはチェコから輸入したもので、泡に強いこだわりがあります。私たちはビールを造る際、そのサーバーで注がれるビールをゴールとして日々造っていますので、その場でしか飲めないというのが大きな違いです。瓶で飲む際はとにかく鮮度が大切なので買ったらすぐに飲むことをオススメします。温度は好みがあると思いますが、グラスに注いで楽しんでください。

—工場ではできたてのビールが楽しめるかと聞きました。

毎月第一土曜日に工場を開放して、ビールを楽しめるイベントを行っています。集まるのは地元の方が中心で、皆さん楽しみにしてくれています。

—親仁に逢いに逢おう！
横浜ベイブルーイング戸塚工場
横浜市戸塚区上矢部町 2006
TEL. 045-443-9972
営業時間 要問合せ
毎月第一土曜日にはできたてのビールが飲めるイベント開催
※時間はFacebookページで要確認
他、ビールと食事を楽しめるお店が戸塚と関内にあり！
※HPより要確認
(<https://www.yokohamabaybrewing.jp/>)



さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

若林 顕 セルフ・プロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ

ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》

《第2期》2020.1/31(金) 19:30

若林 顕(ピアノ)

全席指定

一般 2,500円/学生 1,500円

※2020年度開催日程については1月中旬公開予定のチラシもしくはホームページをご覧ください。

好評
発売中

ラストシーズン プレ講座

2020.4/18(土) 14:00 約1時間

若林 顕(ピアノ)

全席自由

1,000円

会場:リハーサル室

まもなく
発売

Ticket さくらプラザ先行電話予約
2/24(月・祝)14:00~
※窓口販売は翌日9:00から



©Wataru Nishida

共催 とつかのん
戸塚区演奏家協会による
ガラコンサート vol. 6

2020.2/23(日) 14:00

全席自由

前売り 1,500円

当日 2,000円



好評
発売中

*さくらプラザでは
窓口販売のみ取扱い

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2

Vol.12 ヴィヴァルディ「四季」

(最終回) & バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、デヴィッド・ノーラン(ヴァイオリン)

安田 謙一郎(チェロ)、曾根 麻矢子(チェンバロ) 他

2020.3/14(土) 14:00

全席指定 一般 3,500円

ペア 6,000円/学生 1,500円

©Wataru Nishida

©Shunichi Atami

©Shunichi Atami

好評
発売中

El Cielo2020×アストル・ピアソラ

一魂を揺さぶるその情熱を、
圧倒的破壊力のあるサウンドで—

El Cielo2020:

桜井 大士(ヴァイオリン)、アンドレイ・カヴァツィン(チェロ)

金森 基(ベース)、高木 梢(ピアノ)

2020.4/24(金) 19:00

全席指定 一般 3,000円/ペア 5,500円

学生 1,000円/EX席 1,500円(補助席・見切れ席)

Ticket

さくらプラザ先行電話予約
1/15(水)14:00~
※窓口販売は翌日9:00から

ピアノコンチェルトを弾き振り!

気軽にモーツァルト!

野田 清隆(ピアノ・指揮)

さくらプラザ オリジナルオーケストラ

2020.3/21(土) 15:00

全席指定

一般 3,500円/横浜市民 3,000円

学生 1,500円/EX席 1,000円(補助席・見切れ席)



©Leonardo Bravo

好評
発売中

ともだちやーあいつもともだちー

劇団うりこ

2020.5/5(火・祝) 14:00 約65分

全席指定

一般 2,500円

こども 1,000円(小学生以下)

親子ペア 3,000円(一般1枚・こども1枚)

*0歳から入場可。2歳以下ひざ上鑑賞の場合は入場料無料。

お席が必要な場合はチケットをお買い求めください。



まもなく
発売

Ticket

さくらプラザ先行電話予約
2/15(土)14:00~
※窓口販売は翌日9:00から

アートマネジメント講座IX シンポジウム

『誰も取り残さない』社会を達成する劇場経営

山口 健太郎(神奈川県理事(いのち・SDGs担当))

高萩 宏(東京芸術劇場副館長)

若林 朋子(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任准教授)

植松 侑子(合同会社suzugen代表社員、特定非営利活動法人Explat 理事長)

2020.1/23(木) 14:00

全席自由 参加無料



撮影:安田有里
©Kot Na design

申込
受付中

らららん♪ドレミシリーズ

第1回 10:45/第2回 12:00 各回約45分

市原由里香(リトミック) 他 会場:リハーサル室

全席自由 各回 500円(0歳より有料)

Vol.8 0歳から大人まで楽しめるコンサート

2020.3/19(木) ~親子でリトミック~

※2020年度開催日程については3月中旬公開予定のチラシもしくはホームページをご覧ください。



好評
発売中

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに溺れる3日間

春の
芸術祭 2020



ホールスペースゲスト
鈴木 理恵子(Vn)
若林 顕(Pf)

2020.2/20(木)~22(土)

※会場により開催日時は異なります。

入場無料

※詳細はP.4-5をご覧ください。

参加
無料

こどものための
芸術の学校

演劇ワークショップ



2020.3/26(木)・

27(金)・29(日)

※詳細はチラシもしくはHPをご覧ください。



掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
チケット*をプレゼント!

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名●掲載用ペンネーム●ご住所●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただく場合がございます。

編集後記 2020年、ついにオリンピック・パラリンピックです。アスリートたちの活躍に乾杯! 本年もよろしくお願いたします。

(さくらプラザ館長 小林 君江)



戸塚区民文化センター さくらプラザ



TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502



〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F



<https://totsuka.hall-info.jp>



event@totsuka.hall-info.jp



Vol.39
1・2月号